

青 木 文 庫

— 300 —

片 山 潜 派 の
社 會 主 義 と そ の 運 動

岸本英太郎編・解説

青 木 書 店

編者略歴

1914年 岡山市に生る

1937年 京都大學法學部卒業

現 在 一 京都大學經濟學部助教授

著 書 一 「社會政策論の根本問題」 「日本勞働運動史」
「日本絕對主義の社會政策史」 「寡占化法則と
社會政策」 等

青木文庫



一九五六年一月一日 初版

片山潜派の
社會主義とその運動

定價 百五十圓

編者 岸本英太郎

發行者 青木春雄

東京都千代田區神田神保町一ノ六〇

印刷者 中内あき子

東京都千代田區飯田町一ノ二三

發行所

東京都千代田區
神田神保町一ノ六〇

株式會社 青木書店

電話東京 (29) 一九〇四番
八三二二番

振替東京 三六五八二番

（青木文庫解説總目錄）を小賣書店で御請求ください

青 木 文 庫

— 300 —

資料日本社會運動思想史明治後期第8集

片 山 潜 派 の
社會主義とその運動

岸本英太郎編・解説

青 木 書 店

資料日本社会運動思想史刊行のことは

近代社会運動の歴史がはじまっていた、すでに久しい。わが国においても、労働者農民を中心とする勤労大衆の社会的解放のための諸運動は、資本主義の形成と同時に始まり、その成長とともに発展し、今日すでに数十年のながい歴史をつみあげている。平和・独立・自由をめざすげんざいの日本国民のたたかいは、過去数十年にわたるこれら社会運動・労働者農民運動の経験と成果のうえにたっているのである。

しかるに、このながい歴史の伝統を体系づけ、その貴重な教訓を集約し、げんざいの国民的諸運動に真にやくだつような社会運動史の編さんや記述は、まだ十分になされていない。そうした歴史記述にかくことのできないいくつ重要な文献資料の類すらが、まだ完全にまとめられず、かえってますます散逸し、大衆の眼から遠ざけられていくような状態にあるのである。

それでわれわれは、細部におよぶ文献の蒐集整理は将来のこととして、ここにとりあえず、今次敗戦までのわが社会運動の歴史の研究と理解に必要とおもわれる基本資料だけでもいちおう系統的に整理し、公けにしようと思図したのである。

周知のように、わが近代社会運動の歴史は、自由民権運動から明治三〇年にいたる前史の時期、明治三〇年代から第一次大戦までの最初の勃興期、大戦後大正年代における運動の復活開花の時期、昭和年代にはいつてからの全面的な展開期と、今次第二次大戦までに四つの主要な発展段階

をへてきている。そこで、ここでは全体を明治前期・明治後期・大正期・昭和期の四つにわけ、それぞれの時期の運動の歴史資料・とくに運動をみちびき支配した主要思想と主要潮流にかんする諸文献を体系的に編集し、これに適宜解説をくわえつつ、順次刊行することとした。このばあい、今日一般の眼にふれることのむずかしい新聞・雑誌などの論文・声明その他の文書を主にし、まとまった著書・歴史書の類を従とした。

かぎられた人員と能力でなされるこの企画が、日本社会運動の歴史的研究・そのかがやかしい遺産の攝取・今日の運動のいっそうの推進等のために、いくらかでもやくだつところがあれば幸いである。さいごに、読者諸君がげんざい入手しがたい文献資料の所在や蒐集について、何らかの御協力をたまわるよう切に願う。

一九五五年三月

編纂委員会

凡 例

例

凡

5

一 本書「片山潜派の社会主義とその運動」は、片山潜派Ⅱ議會政策派の機関紙「社会新聞」の記事を主として集録し、片山潜派の社会主義論とその活動の全貌を明らかにせんとしたものである。Ⅰには社会主義論を、Ⅱには工場法論Ⅱ工場法運動を主として集録・整理した。

一 片山派の社会主義論については、すでに本叢書中の「明治社会運動思想」下に、直接行動派の社会主義論とともに、かなり集録したが、当時未見の「社会新聞」が多く、充全を期することができなかった。たまたま大河内一男教授が「社会新聞」の大部分を所蔵されていることを知り、教授の御好意によって、これを閲読・整理することができた。片山潜派社会主義の明治社会主義史上における重大な地位の故に、その全貌を明らかにすることは極めて重要である。筆者はここにほぼその全貌を明らかにするに足る記事を集録し得たことを喜び、教授に深く感謝するものである。

本書は「明治社会運動思想」下の補遺たる地位を占めるものである。併読を希望したい。

一 工場法問題と労働運動Ⅱ社会主義運動との関連の問題は、従来殆んど明らかにされていなかった。労働者階級の立場から工場法運動を行った片山潜派の活動が明らかになったことは、日本工場法成立史の解明に一つの光を投ずるものといえよう。

一 本書に収録した「労働者向上の途」は、「明治社会運動思想」下二三七―八頁にすでに収

録したものであるが、編者の不注意で大きな脱漏があった。大切な論文なので、その全文を本書に収録した。了承されたい。

一 「社会新聞」は、七十二号分のうち、四十六、四十七、五十八、六十四、六十九、七十、七十一の七号分を見ることができなかった。これらの号の所在を御教示頂ければ大変幸せである。尙七十二号以後については、その発行されたか否かも不明である。御存知の読者の御教示を重ねてお願いしたい。

一 手違いから漢字がすべて当用漢字で組まれたので、已むを得ず、当用漢字のままで上梓することとした。読者の了承を得たい。

一九五六年九月

編 者

目次

刊行のことば	三
凡例	五

I 片山潜派の社会主義とその運動

労働問題雑感	片山 潜	「社会新聞」明治四〇・六・二	一五
平民階級の自覚	田 添 生	「社会新聞」	四〇・六・一六
労働者向上の途		「社会新聞」	四〇・六・二三
伝道の方法		「社会新聞」	四〇・八・四
在郷軍人団と社会主義		「社会新聞」	四〇・八・一一
緑蔭漫語	田 添 生	「社会新聞」	四〇・八・一八
続緑蔭漫語	祿 亭 生	「大阪平民新聞」	四〇・九・二〇
答「緑蔭漫語」之批難	田 添 鉄 二	「社会新聞」	四〇・九・二九
所謂軟派としての予の主張	深 尾 韶	「社会新聞」	四〇・九・八
私の分派観	竹内善朔	「大阪平民新聞」	四〇・一〇・二〇
社会党分裂の経過	田 添 鉄 二	「社会新聞」	四〇・一一・一七
無政府党			四〇・一一・一七

田舎より……………	祿亭生	「日本平民新聞」	四一・四・五……………五二
実行的社会主義……………	西川生	「社会新聞」	四〇・九・二二……………五六
社会主義の経済……………	田添鉄二	「社会新聞」	四〇・七・二八……………六〇
平民階級の道徳的自覚……………	田添鉄二	「社会新聞」	四〇・一〇・二三……………六二
普通撰挙の請願……………	赤羽生	「社会新聞」	四〇・一〇・二三……………六二
労働者は何故に覚めざる乎……………	田添鉄二	「社会新聞」	四〇・一〇・二三……………六二
ストライキと社会主義……………	田添鉄二	「社会新聞」	四〇・一一・三……………一〇七
労働界の先覚者諸君……………	片山潜	「社会新聞」	四〇・一一・一〇……………一二
消費組合の話……………	西川生	「社会新聞」	四〇・一一・一〇……………一二
駄目とは何んぞや……………	西川生	「社会新聞」	四〇・一一・一〇……………一二
増税か増税か……………	片山潜	「社会新聞」	四〇・一一・一〇……………一二
北海道新夕張の大惨事……………	西川生	「社会新聞」	四一・二・二……………一三
時代の要求する社会主義……………	西川生	「社会新聞」	四一・二・九……………一四
社会党の前途……………	片山潜	「社会新聞」	四一・四・二六……………一六
東海道遊説雑感……………	片山潜	「社会新聞」	四一・五・二五……………一九
全国の同志諸君へ……………	片山潜	「社会新聞」	四一・五・二五……………一九
大阪より……………	藤田貞二	「社会新聞」	四一・五・二五……………一九
全国遊説……………	鈴木楯夫	「社会新聞」	四一・五・二五……………一九

一年間の事業……………	「社会新聞」	四一・六・一五……一五四
社会主義者の立場……………	「社会新聞」	四一・一〇・一〇……一五四
老年の感!!!……………	片山 潜……………	四一・一二・一〇……一五七
歳末の感……………	藤 田 生……………	四一・一二・一〇……一五八
外科的労働問題……………	片山 潜……………	四一・一二・一〇……一六〇
愈々餓死か……………	片山 潜……………	四一・一・一五……一六三
失業者問題に就て……………	安部磯雄……………	四一・一・一五……一六六
職工界の前途……………	「社会新聞」	四一・二・一五……一六八
社会主義の本領……………	片山 潜……………	四一・三・一五……一六九
平民運動の急務……………	片山 潜……………	四一・四・一五……一七三
云ふ勿れ今の職工は生氣地なしと……………	「社会新聞」	四一・五・一五……一七四
我同志に告ぐ!……………	片山 潜……………	四一・一〇・一五……一七六
政府の猛省を促す……………	鈴木楯夫……………	四一・一〇・一五……一七八
社会主義の活歴史……………	片山 潜……………	四一・一一・一五……一八一
新年の処感(労働者に告ぐ)……………	「社会新聞」	四一・一・一五……一八三
新道德の建設者は近世の労働者なり……………	片山 潜……………	四一・五・一五……一八四
社会党の喜望……………	「社会新聞」	四一・六・一五……一八七
帝国憲法と社会主義……………	片山 潜……………	四一・一〇・一五……一八九

社会と社会主義……………	片山生……………	「社会新聞」	四三・一〇・一五……………	一九三
--------------	----------	--------	---------------	-----

II 労働者階級と工場法問題

工場法と工業……………	片山 潜……………	「東洋経済新報」	三一・一〇・二五……………	二〇一
工場法案……………	幸徳秋水……………	「万朝報」	三五・一〇・二四……………	二〇六
工場法案要領……………	幸徳秋水……………	「万朝報」	三五・一一・七……………	二〇八
政府と労働者……………	……………	「平民新聞」	四〇・三・五……………	二二
官役職工人夫扶助令……………	……………	「大阪平民新聞」	四〇・六・一……………	二二三
鉄道庁職員救済組合……………	……………	「大阪平民新聞」	四〇・六・一……………	二二四
刺激のキ、メ……………	……………	「社会新聞」	四〇・六・二……………	二二六
鉄道救済組合の真価……………	……………	「社会新聞」	四〇・六・二……………	二二九
暴動か工場法案か……………	……………	「社会新聞」	四〇・八・一八……………	二三四
工場法……………	片山 潜……………	「社会新聞」	四〇・一〇・一五……………	二三四
対坑夫策……………	……………	「社会新聞」	四〇・六・三〇……………	二三七
政府の労働保険法……………	……………	「社会新聞」	四一・一・一九……………	二三八
社会政策学会に与ふ……………	一労働者……………	「社会新聞」	四一・二・二〇……………	二三九
富豪の究策……………	……………	「社会新聞」	四一・二・二〇……………	二四二
日本の産業は片跛なり 転覆の恐れあり 警戒せよ……………	……………	「社会新聞」	四二・四・一五……………	二四三

労働者救済に就いて……………	片山 潜……………	「社会新聞」	四二・九・一五……………	二三三
労働者のために工場法案を難ず……………	片山 潜……………	「社会新聞」	四二・二二・一五……………	二三八
欺かるゝ勿れ！……………	……………	「社会新聞」	四三・一・一五……………	二四三
工場法案遂に埋葬せらる……………	……………	「社会新聞」	四三・三・一五……………	二四四
工場法案の撤回に就て労働者の決心を促す……………	……………	「社会新聞」	四三・三・一五……………	二四五
工場法案と労働者（工場法期成会の主旨）……………	……………	「社会新聞」	四三・四・一五……………	二四九
工場法案……………	……………	「社会新聞」	四三・六・一五……………	二五三
工場法の研究、労働者の現状……………	峯 岸 生……………	「社会新聞」	四三・六・一五……………	二五四
工場法案を評す……………	片山 潜……………	「東洋経済新報」	四三・一一・一五……………	二五七
附 治安警察法案……………	幸徳秋水……………	「万 朝 報」	三三・二・一七……………	二六三
治安警察法……………	……………	「平民新聞」	四〇・二・二四……………	二六九
解 説……………	……………	……………	……………	……………
……………	岸 本 英 太 郎……………	……………	……………	二七五

I 片山潜派の社会主義とその運動

労働問題雜感

片 山 潜

〔「社会新聞」第一号、明治四〇年六月二日〕

人類社会の進歩するに従つて、各階級の組織に變化を来す事は当然である。我邦の産業が数年來非常なる發達をなしたる事は世界に於ても有名なる事実として賞賛されて居る。大会社が出来、大工場が建築せられて、此内で数十億万円の商売が営まれ、立派なる機械、汽罐車、列車を始め屢々大軍艦や大商船が建造せらるゝ事となつて、又近時は数ヶ月以内に十三四億万円の資本は新会社に投ぜらるゝと云ふ有様で、産業の勃興は日本開闢以来の大進歩である。為めに上記の如く会社を組織し、工場を建てゝ營業をなす人々が利益を得て或は昔の大名の如くお屋敷を買ひ込んで大厦高樓を築き、莫大なる庭園を設けて其勢ひを示し、又は豪遊を試み、或は投機に手を出して成功し、富豪の名簿に入籍して喜び、又或は失敗しては平沼延次郎君の如くローマンチックの惨死を遂げ、或は臼井の段名の如く破産する者もある。仲には外国漫遊を試みる者もあり、都て日本の社会は今や發達膨脹しつゝありて、昔日の日本にあらず。日本国民の思想も亦漸次に進歩して、今日は各方面に向つて活動を始めつゝあり。こは誠に喜ぶ可き事である。

世運の發達進歩は現時の大勢であつて、之に伴はぬ者は失敗に終り、連れて進歩する者は成功し發展する。故に時運と伴行する能はざる者は頻りに悲觀をなし、不平を唱へる者である。世の進運に逆ふ事の出来ざるは、仏国革命より始まりし民権自由の宣言が、漸次普及して今やペルシ